

令和 8 年 度

業務番号 3 2 8 号

開明橋撤去工事実施設計業務委託

特 記 仕 様 書

おいらせ町彦七川原地内

おいらせ町 地域整備課

第 1 章 総 則

第 1 条 共通仕様書の適用

本業務の施行にあたっては、青森県県土整備部制定「設計業務等共通仕様書」、「測量業務共通仕様書」、「地質・土質調査共通仕様書」（令和 7 年 10 月 1 日以降適用）によるほか、特記仕様書に基づき実施しなければならない。

共通仕様書と特記仕様書が一致しない条項は、特記仕様書が優先する。

第 2 条 業務目的

本業務は奥入瀬川にかかる開明橋の撤去設計を行うことを目的とする。

第 3 条 履行期限

1. 業務日数 日
2. 履行期限 令和 9 年 3 月 2 0 日

第 4 条 照査技術者

本業務については、照査技術者を配置すること。

第 5 条 打ち合わせ等

設計業務着手時、設計業務の主要な区切り及び設計業務完了時において行う打ち合わせは 4 回とする。
設計業務の主要な区切りは、監督員と協議の上決定とする。

第 6 条 業務計画書

本業務における業務計画書は、第 1 回打合せ後、速やかに提出するものとする。

第 7 条 資料の貸与

貸与する図書及びその他の関係資料は次のとおりとする。

1. 業務履行上必要な発注者の所有する資料

第8条 履行報告

受注者は、契約書第15条の規定に基づき、履行状況を別に定める様式に基づき作成し、調査職員に提出するものとする。

第 2 章 業 務 内 容

第 1 条 設計条件

設計条件は、下記のとおりとする。

工 種	数 量	作 業 条 件
測量業務		平地・耕地
基準点測量		
3 級基準点測量	2.0点	
4 級基準点測量	6.0点	
現地測量		
作業計画	1.0業務	
現地測量	1.0式	1/500
路線測量		
作業計画	1.0業務	
現地踏査	0.4km	交通量0～1000台
中心線測量	0.4km	交通量0～1000台 曲線数0 測点間隔50m
仮BM設置測量	0.4km	交通量0～1000台
縦断測量	0.4km	交通量0～1000台
横断測量	0.4km	交通量0～1000台 曲線数0 測量幅250～300m 測点間隔50m
地質調査業務	2箇所	
機械ボーリング	70.0m	オールコア φ66mm
標準貫入試験	70.0回	
資料整理とりまとめ	1業務	
断面図等の作成	1業務	
運搬費	2日	トラック運搬
準備及び後片付け	1業務	
仮設費	2.0箇所	平坦地足場

環境保全	2.0箇所	
調査孔閉塞	2.0回	
設計業務		
橋梁撤去設計		
現地踏査	1.0業務	
現況計測及び一般図復元	1.0橋	
上部工撤去設計	1.0橋	
下部工撤去設計		
橋台撤去設計	1.0橋	
橋脚撤去設計	1.0橋	
工程計画検討	1.0橋	
概算工事費算出	1.0橋	
仮設構造物設計		
土留工詳細設計	1.0式	自立式 基本1基 類似3基
仮橋、仮栈橋詳細設計	1.0橋	工事用仮橋
河川構造物設計		
護岸詳細設計	1.0式	両岸 10m
関係機関との協議資料作成		
関係機関との協議資料作成	1.0業務	
打ち合わせ等		
打ち合わせ	1.0業務	4回
関係機関打合せ協議	1.0機関	1回

第2条 BIM/CIMの活用について

(受注者希望型) ※発注者指定型以外対象

本業務は、「青森県県土整備部所管土木事業におけるBIM/CIM活用実施要領」に基づき、受注者の希望により3次元モデルを活用できるものとする。

3次元モデルの活用を希望する場合は、業務受注後、調査員と目的、活用内容、使用及び費用等について協議すること。

費用は、発注者が必要と認めるものに限り設計変更の対象とする。

第3条 その他

- －1) 完成検査の予定については、実施予定の前月15日までに予定日を調査員に報告のこと。
- －2) 色彩等の景観の検討については、青森県景観条例に基づき、「青森県公共事業景観形成基準」及び「青森県景観色彩ガイドライン」を遵守しなければならない。
- －3) 防犯に配慮した環境の検討については、「防犯に配慮した設計ガイドライン」を遵守しなければならない。
- －4) 「青森県リサイクル製品の認定及び使用の推進に関する条例」(青森県リサイクル製品認定制度)第9条第1項の規定により制定された、「青森県認定リサイクル製品優先使用指針」を遵守しなければならない。
- －5) 受注者は、受注者及び下請負者等に対して暴力団員等による不当介入があった場合は、発注者及び警察へ報告・通報しなければならない。また、警察の捜査上必要な協力を行うものとする。
- －6) 本業務は、受発注者協力のもと、建設業の働き方改革推進のため、ウィークリースタンス等の推進を図ることとし、下記の事項について業務着手前に受発注者間で共有し、業務を進めていくこととする。
 - 1. 打ち合わせ時間の配慮
打ち合わせは、勤務時間内におこなう。
 - 2. 資料作成依頼の配慮
資料作成依頼は、休日等に資料を作成しなければならない状況が発生しないよう十分に配慮する。
 - 3. ワンデーレスポンスの再徹底
問い合わせに対して、ワンデーレスポンスを徹底する。

第 3 章 成 果 品

第 1 条 成果品の提出

成果品は共通仕様書で定める他、次のものを提出すること。

1. 報告書

電子媒体 (CD-RM)	2 部
--------------	-----

紙媒体 (簡易なファイルにとじたもの、図面含む)	2 部
--------------------------	-----

設計業務等に関する提出書類一覧表

(1) 契約書に基づいて必ず提出する書類

提出先	名 称	提出期日	部数	条 項
地域整備課	業 務 工 程 表	契 約 後 1 4 日 以 内	1	3 条
地域整備課	管 理 技 術 者 通 知 書	契 約 後 遅 滞 な く	1	10 条
調査員	業 務 履 行 報 告 書	毎月1回、調査員の指定日	1	15 条
調査員	完 成 届	業 務 を 完 了 し た と き	1	32 条
調査員	業 務 成 果 引 渡 書	引 渡 の と き	1	32 条
調査員	請 求 書	引 渡 の と き	1	33 条

(2) 契約書に基づいて必要に応じて提出する書類

提出先	名 称	提出期日	部数	条 項
地域整備課	照 査 技 術 者 通 知 書	設計図書で定められている 場合、契約後遅滞なく	1	11 条
地域整備課	管理(照査)技術者変更通知書	変 更 の 都 度	1	10 条・11 条
調査員	貸 与 品 借 用 書	貸 与 時	1	16 条
調査員	貸 与 品 返 還 書	返 還 時	1	16 条
調査員	履 行 期 間 の 変 更 請 求 書	変 更 を 必 要 と す る と き	1	23 条
調査員	部 分 使 用 同 意 書	発注者が部分使用を請求したとき	1	34 条
調査員	指定部分に係る(又は、引渡 部分に係る)業務完了報告書	設計図書に定められた期日	1	38 条

(3) 仕様書に基づいて必ず提出する書類

提出先	名 称	提出期日	部数	条 項
調査員	業 務 計 画 書	契 約 締 結 後 1 4 日 以 内	1	1112 条
調査員	業 務 打 合 簿	そ の 都 度	1	(契)2 条 (仕)1110 条他

(4) 仕様書に基づいて必要に応じて提出する書類

提出先	名 称	提出期日	部数	条 項
調査員	担 当 技 術 者 届	担当技術者を定めた場合	1	1109 条
調査員	担 当 技 術 者 変 更 届	そ の 都 度	1	1109 条
調査員	照 査 報 告 書	業 務 完 了 後	1	1108 条
調査員	テクリス登録内容確認書	請負金額100万円以上 契約締結後、変更時、 完了時登録後速やかに	1	1110 条
調査員	身 分 証 明 書 交 付 願	必 要 な 時	1	1116 条
調査員	事 故 報 告 書	事 故 が 発 生 し た と き	1	1132 条
調査員	新 技 術 活 用 計 画	NETIS登録技術の活用を希望するとき	1	1139 条
調査員	活 用 効 果 調 査 票	業 務 完 了 後	1	1139 条
調査員	生 産 性 向 上 提 案 書	後段階の設計において 一層の生産性向上の検討の 余地が残されている場合	1	1209 条